



概要

この章は、次の内容で構成されています。

- [Cisco Nexus 1000V vCenter Plug-in の概要, 1 ページ](#)
- [REST API アーキテクチャ, 2 ページ](#)
- [vCenter Plug-in の前提条件, 2 ページ](#)
- [vSphere Web Client の情報, 3 ページ](#)

Cisco Nexus 1000V vCenter Plug-in の概要

Cisco Nexus 1000V 仮想スイッチは、VMware ESX を実行している仮想化サーバ環境のための、ソフトウェアベースのレイヤ2スイッチです。Cisco Nexus 1000V は、物理と仮想の両方の環境に一貫したネットワーキングエクスペリエンスを提供します。これは2個のコンポーネントで構成されます。1つは Virtual Ethernet Module (VEM) で、これはハイパーバイザに組み込まれているソフトウェアスイッチです。もう1つは Virtual Supervisor Module (VSM) で、仮想マシンのネットワーキングポリシーおよび Quality of Service を管理するモジュールです。

以前のリリースの Cisco Nexus 1000V では、システム管理者がスイッチのネットワーキング情報を参照することはできませんでした。Cisco Nexus 1000V Release 4.2(1)SV2(1.1)からは、VMware vCenter Server 用のプラグイン (vCenter Plug-in (VC Plug-in) と呼ばれます) が Cisco Nexus 1000V 仮想スイッチでサポートされます。これによって、サーバ管理者は仮想ネットワークを全体的にとらえることができ、Cisco Nexus 1000V 仮想スイッチのネットワーキング情報も参照できるようになります。

vCenter Plug-in は VMware vSphere Web Client だけでサポートされます。vSphere Web Client を使用すると、ブラウザから VMware vCenter Server システムに接続して Cisco Nexus 1000V を管理できるようになります。vCenter Plug-in は、vSphere Web Client の Cisco Nexus 1000V ユーザーインターフェイスに新しいタブとしてインストールされます。

vCenter Plug-in を使用すると、管理者が VSM の設定の情報を表示することができます。vCenter Plug-in を使用して、サーバ管理者は必要なネットワーキングの詳細を vCenter Server からエクスポートし、ネットワーキングの問題の根本原因の調査と防止を行い、適切なポリシーを指定して

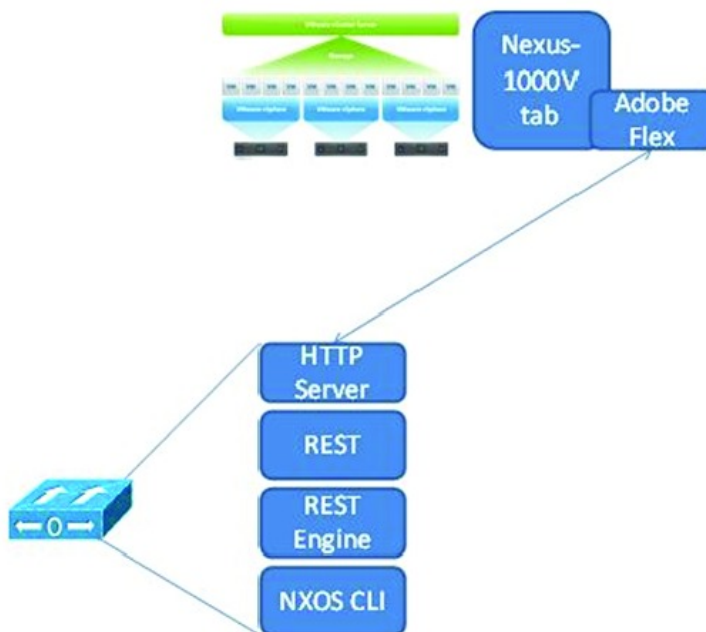
仮想マシンを配置できます。サーバ管理者は、vCenter Plug-in で提供されるネットワークの詳細を使用して、リソースを効果的にモニタし、管理できます。

REST API アーキテクチャ

Cisco Nexus 1000V 4.2(1)SV2(1.1) からは、拡張可能な REST API アーキテクチャが Cisco Nexus 1000V でサポートされます。REST インフラストラクチャは、Apache HTTP サーバおよび Representational State Transfer (REST) モジュールで構成されます。Cisco Nexus 1000V は、REST API で vCenter Server からネットワーク情報を設定し、取得することをサポートしています。REST API は、vCenter Plug-in 機能を実装するために使用されます。

Cisco Nexus 1000V スイッチでサポートされているアーキテクチャについては、REST API アーキテクチャの図を参照してください。この図では、VMware vCenter が上に配置され、VSM は下に配置されています。

図 1: REST API アーキテクチャ



334058

vCenter Plug-in の前提条件

vCenter Plug-in の機能を Cisco Nexus 1000V で設定する前に、次の前提条件を参照してください。

- VMware ESXi 5.0 以上。
- VMware vCenter Server 5.0 以上。

- VMware vCenter Web Client 5.1。vCenter Plug-in は、VMware vCenter Web Client 5.1 だけでサポートされています。
- 使用するオペレーティング システムが vSphere Client をサポートすることを確認します。
- vSphere Client には、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。これがシステムにインストールされていない場合、vSphere Client インストーラによってインストールされます。.NET 3.5 SP1 のインストールには、より多くのファイルのダウンロードのためのインターネット接続が必要になることがあります。
- 次のブラウザが vSphere Web Client バージョン 5.1 でサポートされます。
 - Microsoft Internet Explorer 7、8、および 9。
 - Mozilla Firefox 3.6 以降。
 - Google Chrome 14 以降。
- vSphere Web Client を使用するには、Adobe Flash Player バージョン 11.1.0 以降が、ブラウザに適したプラグインでインストールされている必要があります。
- Cisco Nexus 1000V Release 4.2(1)SV2(1.1)がインストールされ、vCenter 用に設定されていることを確認します。
- vCenter Plug-in が Web Client にインストールされていることを前提としています。
- VMware vSphere PowerCLI (vCenter Plug-in PowerCLI) アプリケーションを使用して vCenter Plug-in を vCenter Server 上で登録します。VMware vSphere PowerCLI (vCenter Plug-in PowerCLI) スクリプトを、`http://<vsm ip address>/vcplugin/registerVCPlugin.ps1` を使用してダウンロードします。

vSphere Web Client の情報

vCenter Plug-in には、vSphere Web Client バージョン 5.1 が必要です。



(注) vCenter Plug-in は、5.0 Web Client では機能しません。vCenter 5.0 サーバでの設定を実行する場合は、別のホストに 5.1 Single Sign-On および Web Client をインストールすることを推奨します。



(注) vSphere Web Client をインストールまたはアップグレードする方法の詳細については、VMware のマニュアル『*VMware vSphere ESXi and vCenter Server 5.1 Documentation*』を参照してください。

vSphere Web Client (VWC) 5.1 を正常にインストールするには、SSO/ルックアップ サーバが必要です。したがって、vCenter Server 5.0 を VMware Web Client 5.1 で管理することはできません。少

なくとも 1 つの vCenter Server 5.1 が必要です。vCenter Server 5.0 を設定済みの場合、次の手順を実行します。

- vCenter Server 5.1 をインストールします。
- admin-app を使用して vCenter 5.0 Server を登録します。vCenter 5.0 Server が登録されると、vSphere Web Client (VWC) 5.1 を使用して管理できるようになります。



(注) vSphere Web Client (VWC) 5.1 は、ESXi ホストに直接接続できません。ESXi ホストに直接接続する必要がある場合、古い vSphere Web Client を引き続き使用する必要があります。
